



高校入試がスタート！

1月9日（木）に私立高校、茨城高専の推薦入試が実施されます。1月14日（火）からは、私立高校の一般入試が始まります。9年生は4月からの新しい生活を夢みて受験勉強をがんばってきたことでしょう。自信をもって試験に臨み、9年生一人一人の目標を達成できることを期待します。また、1月20日（月）から始まる9年生を対象にした三者面談では、県立高校の志願校を決定していきます。



7、8年生も、玉里学園卒業後の進路に関心を持ち、必要な準備を今から始めていきましょう。そこで、今回は県立高校についての情報をお伝えします。今からできる準備は何か考えてみましょう。

県立高校調査書には 1、2 年生の評定が入ります

様式第9号の1 令和 年度入学志願者調査書

整理番号
(12桁の番号)
受験番号 ※

右は茨城県立高校の調査書です。赤丸で示したところは、「各教科の学習の記録」です。そこには7、8年生の評定を記入する欄があります。ここには、3月にお渡しする通知票の学年評定が転記されます。そして、各高校では、3年間の9教科の評定合計の値を合否判定の資料として活用します。しかもこの値は、合否判定において約50%の重みをしめます。このことは、5教科の学力検査で高得点を得たとしても、評定合計値が低ければ合格できない場合もあることを示しています。合格者の決め方については次のページをご覧ください。

9年生から、「7・8年生の時に、課題の提出をしっかりとっておけばよかった。」「7・8年生の時に、どの教科にも力を入れておけばよかった。」などの声が聞かれるのはこのためです。

7・8年生のみなさん、普段の授業や提出物などを大切に、しっかり努力していきましょう。

なお、この調査書の様式は茨城県教育委員会のホームページで公開されています。詳細は、「令和7年度茨城県立高等学校入学者選抜実施細則」をご覧ください。

また、私立高校の調査書も県立高校とほぼ同じ書式です。

生徒氏名 (カタカナで記入)	性別	志願先校	茨城県立		高等学校	課程	全日制・定時制・通信制	
	生年月日	昭和 平成	年	月	日	主	第1 科	
	卒業年月日	平成 令和	年	月	日	卒業見込み 卒業	第2 科	
現住所								
1 各教科の学習の記録			2 総合的な学習の時間の記録					
教科	評定							
	1年	2年	3年					
国語				3 特別活動の記録		4 特別活動に関する事実及び所見		
社会								
数学				活動の 状況	内容	1年	2年	3年
理科					学級活動			
音楽					生徒会活動			
美術				学校行事				
保健体育				5 部活動・特技等の記録				
技術・家庭								
外国語								
6 欠席日数								
3年			日					
7 その他の事項								
上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日 学校名 校長氏名 記載責任者 職氏名								

注1 ※欄は志願先高等学校が記入する。
注2 2、4、5及び7については、筆字書きで簡潔に記入すること。

(A4用)

【令和7年度茨城県立高校入学者選抜日程】

<p>一般入学</p> <p>学力検査 2月27日(木) 特色選抜面接等 2月28日(金) ・共通選抜(全校で実施) ・特色選抜(学校の出願要件を確認)</p>	<p>合格者の発表</p> <p>3月12日(水) ※第2次募集を行う学校などは 3月12日(水)に県教育委員会 HPで発表</p>	<p>第2次募集</p> <p>第2次検査 3月17日(月) 合格者の発表 3月19日(水) 一般入学で募集定員に満たない 学校(学科)で実施</p>
<p>●志願先変更 2月17日(月)・18日(火)9:00~16:00 ●第2次募集出願期間 3月13日(木)・14日(金)9:00~16:00</p>		
<p>茨城県教育委員会 Ibaraki Prefectural Board of Education</p>		

県立高等学校入学者選抜方法について

共通選抜 ○学力検査と調査書等を用い、A群・B群の2段階で合格者を決定します。

学力検査(5教科)

国語、社会、数学、理科、英語の5教科の得点を合計します。

※定時制課程には、学力検査を国語、数学、英語の3教科で実施する学校があります。

調査書

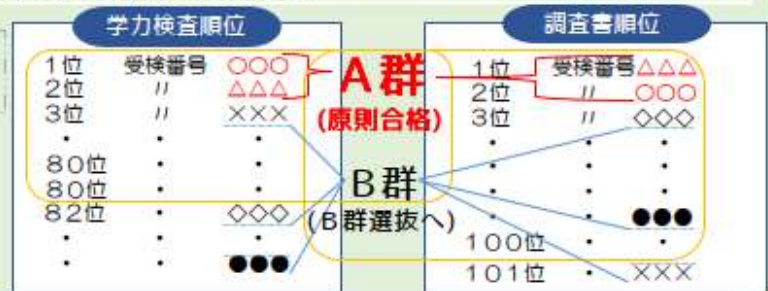
各教科の学習の記録、特別活動の記録、部活動・特技の記録などを評価します。

A群選抜 学力検査と調査書等を使ってA群(原則合格)を決定

学力検査の得点合計の順位が「募集定員から特列入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数」の30%以内、かつ、調査書の評定合計(3年間)の順位が、「募集定員から特列入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数」以内にある者をA群(原則合格)とし、残りをB群とします。

例 募集定員から特列入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数が100人の場合

学力検査順位が30位以内で、かつ、調査書順位が100位以内の者が70人いたとします。この70人がA群(原則合格)となり、それ以外の受験者がB群となります。



B群選抜 残りの人員は、B群の中から、学力検査重視、調査書重視の2つの方法で合格者を決定

学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率を、各高校が20:80から80:20の間で決定します。

例 募集定員100人からA群選抜で合格した70人を除いた残りの30人については、例えば、60:40とした高校の場合

学力検査重視で18人、調査書重視で12人が合格となります。(60:40【18人:12人】)

特色選抜 ○文化・芸術及び体育、奉仕活動及び生徒会活動のいずれかの分野において優れた資質・実績を有する者を対象とする選抜です。

●応募資格

具体的な出願要件は各高校のホームページ等で公表します。出願要件を満たしていれば、だれでも出願できます。

出願要件例 野球(男)、卓球(女)、バレーボール、吹奏楽、生徒会、奉仕活動のうち、いずれかの活動において、中学校の部活動、又は地域のクラスチームに所属し、3年間積極的に取り組んだ者
中学校時代に、科学に関連する探究活動に取り組んだ経験を有し、本校入学後も積極的に探究活動に挑戦する意志のある者

●選抜資料

「調査書の内容」、「学力検査の結果」、「面接又はプレゼンテーションの結果」の他、高校により実施する「作文」、「実技検査」などの選抜資料を用います。

●選抜方法

選抜資料を総合して合格者を決定します。学力検査は500点(IT未来 IT(A)・IT(B)及びつくばサイエンス(科学技術)は700点(理科200点、数学200点))、それ以外の選抜資料の配点は各学校が定め、総合得点の合計は1,200点を超えないものとしています。

例 学力検査(500点)、調査書(300点)、面接(200点)、実技検査(200点)、合計1,200点